



葦森の風

先日の学力・学習状況調査で、「勉強が分からなかったら誰に聞きますか。」という質問で、「友だちに聞く」と74%の生徒が回答しました。これは本校が、これまで協同学習に取り組んできた成果であり、友だちと学び合っている姿が定着してきたからではないかと思えます。さて、人と話し合いながら、学びを深めるときには、聞いた話や内容を脳の前頭前野という部分に一時的に記憶し、自分の考えと照らし合わせているそうです。これは「ワーキングメモリ」ともいい、この機能が低いほど学びが深まったり、新しいことを創造したりする力が高まるそうです。そこで、この「ワーキングメモリ」の機能を高めるための取組のひとつとして「書き写し」に取り組もうと考えています。

「書き写し」に取り組もう

○朝読書で始まる足守中学校の学校の朝

- ・学校生活の1日が落ち着いた状態で始めることができます。
- ・本を読む生徒、図書館を利用する生徒が多く、読書が身近なものになっています。

○この姿が足守中学校の朝の取組になったので、読むことからもう一歩進めて、いろいろな文章を書き写す「書き写し」を週2回(木)(金)に取り組みたいと思います。

1 取り組む理由

・文章を読み、短い文章を覚えながら、自分の指を動かして文章を書き写すことで、脳の中の「ワーキングメモリ」の能力を高め、日々の授業や学び合いをもっと豊かなものにしたいと考えています。

○ワーキングメモリとは

- ・短い時間に頭の中で一時的に情報を覚えておいたり、記憶したものを引き出したりしながら操作し、処理するための能力です。また、情報をいったん頭の中に置いておくための脳の中の作業場またはメモ帳のような働きをいいます。
- ・みなさんは、普段このワーキングメモリを使い、脳を働かせながら、考え、話し合い、読み書き、計算や創造性のある思考をしているのです。
- ・つまり、この脳の働きは、学習を支える重要な能力であるとともに、重要な役割を果たしているのです。
- ・このワーキングメモリは、鍛えれば鍛えるほどその能力は高まります。

2 取組の方法

- ①(月)(火)(水)これまで通り本を読みます。(木)(金)「書き写し」に取り組みます。
- ②10分経ったら途中でも終わり、いったん回収します。
- ③(金)再度配付し、昨日の続きから始めます。
- ④プリントを提出します。
- ⑤プリントが返ってきたら、専用のファイルに各自でとじていきます。

3 「書き写し」のルール

○いったん覚えたものを書き写すことでワーキングメモリーが鍛えられるので

- ・いったん覚える内容は、文字単位より単語単位、単語単位より文章単位と少しずつ量を増やしながら書き写しましょう。
- ・「次はどんな文章が書かれているのかな。」「自分だったらどう書くだらうか。」などと考えながら書き写しましょう。
- ・人に読んでもらうつもりで丁寧に書きましょう。

学校では朝読書や書き写し等にも取り組み、よりよく考え、学ぶ生徒を育てていきたいと思えます。そのためには学習習慣の定着も欠かせません。ご家庭におかれましても、学習時間の確保とともに、計画的な学習の定着ができるようお声かけをしていただけたらと思います。ご家庭とともに、未来へつながる子どもたちの学びをつくっていききたいと思えます。よろしく願いいたします。